

19

佐渡再生のため、 今なすべきこと

佐渡市長 三浦基裕



明けましておめでとうございます。本年も何とぞよろしく願っています。

昨年は1月下旬に異常寒波による1万件以上の家屋が断水する災害に見舞われました。また、7月上旬からは1カ月半近くも雨が降らず、各地で渇水状況になり、その後は週末のたびに3度の台風に見舞われました。結局、米や果樹など総額で9億円以上の被害が発生し、米の作況指数も86と前年の95を大きく割り込んでしまいました。いつ、どのような災害に見舞われるか分からない、そんな時代になってきた中、市では3月末を目標にハザードマップの修正を行っており、完成次第、皆さまにお配りさせていただきますので、日ごろからしっかりと防災に備える意識を高めていただきたいと思います。

新年度の予算編成作業が本格化しています。地方交付税の減少などで市の財政状況は今後も厳しさを増していきます。年度ごとに貯金（財政調整基金）を取り崩しながらも、前年比マイナスの予算編成に取り組まざるを得ないのが実情です。

福祉・子育て・教育・防災については可能な限り予算を確保しようと苦闘中ですが、すべてにおいて補助制度など従来並みの財源確保は難しいことを市民の皆さまにも理解していただきたいと思っています。体育館をはじめ、公共施設の廃止・解体計画について「合併特例債は前向きな事業に使うべきもの」とのご意見もいただいておりますが、これまで積み残されていた事業を確実に実践し、次世代への負担軽減を目指すことも行政の重要な責務として、今後も取り組んでいきたいと思っております。

新年のご挨拶

